# 令和7年度 出資法人経営評価表

法人名 公益財団法人滋賀県暴力団追放推進センター

## 1 人員、県の人的関与の状況

(単位<u>:人)</u>

①会員の状況(一般・公益社団法人のみ)			R5年度	R6年度	R5→R6増減		
②役員の状況							R7年度
評議員総数	評議員総数						6
	うち県職員(特別職を含む。)						
うち県退職職	員(OB)	1	1		1		
理事総数				6	6		6
うち県職員(		さむ。)		2	2		2
うち県退職職	員(OB)			1	1		1
うち常勤役員	数			1	1		1
うち県	職員(特別	職を含む。	)				
うち県	退職職員	(OB)		1	1		1
監事総数				2	2		2
うち県職員(	特別職を含	さむ。)					
うち県退職職				1	1		1
うち常勤監事							
うち県	職員(特別	職を含む。	)				
	退職職員		·				
報酬額・年齢		,					
常勤役員の写	<b>[</b> 均年齢						
	常勤役員の平均報酬(年額)(千円)						
	役員の報酬総額(年額)(千円)						
③職員の状況	H3C ( 1 H3C)	(110)		R5年度	R6年度	R5→R6増減	R7年度
						八〇二八〇二日 // 八〇二日 // 八〇二十二八〇二十二八〇二十二八〇二十二八〇二十二八〇二十二八〇二十二八〇二十	八十尺
職員総数				2	2		2
常勤職員	THE			2	2		2
プロパ		. Treb	`	2	2		2
		職員(OB	)	I	1		I
	らの派遣職						
	うち県派遣						
	臨時・嘱託職員						
	うち県退職職員(OB)						
	非常勤職員						
	うち県派遣職員						
	うち県退職職員(OB)						
プロパー職員の平均年齢						1. 0	59. 0
プロパー職員の平均給与	プロパー職員の平均給与(年額)(千円)					383	3, 007
職員の給与総額(年額)						764	6, 014
プロパー職員の年代別職員数	プロパー職員の年代別職員数 10代 20代 30代				50代	60代~	合計
(令和7年度当初実数)					1	1	2

## 2 県の財政的関与の状況

(単位:千円)

	2 NOVE 2010 100 NO								
	項	目	R5年度	R6年度	R5→R6増減	R7年度	備考(R7内訳)		
	補助金	事業費補助金	1633	2282	649	2300	県補助金 (法人事業活動に対する 補助金)		
	L出 內 亚	運営費補助金							
県からの 年間	負担金								
平间 収入額	委託料		830	841	11	1115	県委託料 (法人が実施する不当要求 防止責任者講習に対する委託料)		
	その他								
	合計		2463	3123	660	3415			
年度末 残高	年度末 県からの借入金								
		5失補償・債務保証							
		月間中の県からの借入れで、同 な方が行われるもの)							

#### 3 評価

	<b>*1四</b> 	郭価項目 郭価内容 該当項目(		1:0	山次汁!のゴロ	E o T E		
区分	評価項目	評価内容	R4	R5	R6	出資法人の所見	県の所見	
効果性		中期経営計画、年度目標とも策定している。	0	0	0	関係機関との連携、各種研修会等への積極的参加	各企業においてコンプライアンス意識が高ま	
劝未正	- 中期経営計画、年度目標の策定	中期経営計画のみ策定している。				等により、暴力団情勢を主とした社会情勢を的確に	る中、反社会的勢力の排除を目的として、取	
	中期経営計画、平度日標の東足	年度目標のみ策定している。				把握し、情勢に応じた各種広報活動、講習等の実施	引先や顧客に関する情報を求める相談が増	
		策定していない。				による暴力団排除活動に努めた。	加しており、また、企業に限らず社会全体とし	
		全ての事業が社会情勢に適合し、その意義は大きい。	0	0	0	一昨年に引き続き、コロナ禍終息後各種活動につい ては計画通り実施することが出来、目標通りの成果を	て暴力団排除に係るポスター等も広く活用されている。	
	事業活動の社会情勢への適合性	社会情勢に照らして意義が薄れてきた事業がいくつかある。				ては計画通り美施することが出来、日標通りの成果をあげることができた。	れている。 新型コロナ感染症終息後は各種行事を計画	
		社会情勢に照らして意義の薄れてきた事業が多くある。					利生コログ窓未延校忘後は音程刊事を計画 的に実施している。	
		活動について成果目標を定め、目標以上に達成している。						
		活動について成果目標を定め、目標どおり達成している。		0	0			
	活動の成果の達成度	活動について成果目標を定め、概ね目標どおりに達成している。	0					
		活動について成果目標を定め、達成しているものもあるが、十分ではない。			İ			
		活動について成果目標を定めていない。						
		多様な調査を実施し、積極的にニーズの把握に努めている。	0	0	0			
	住民、関係者等のニーズの把握状	ニーズを把握するための手段を講じている。			<b>†</b>			
	<i>7</i> 10	具体的な取組はしていない。			<b>†</b>			
		管理費比率が2期連続で減少した。			0	昨年度同様、物価高の影響から消耗品の購入価格	経済情勢の不安定な中、昨年と同様に必要	
÷1 <del>:/:</del> .k4		管理費比率が前期に比べ減少した。		0	<u> </u>	の値上げ、印刷物の値上げが続く中ではあったが、	性を見極めながら経費削減に努めた結果、	
郊平性	経常費用に占める管理費の状況	管理費比率が前期に比べ増加した。			<b>†</b>	必要性を見極めて節約に努めた結果、管理費が減少		
		管理費比率が2期連続で増加した。	0		<b>†</b>	した。	え等により経常収益も令和5年度より上回っ	
		経常収益が2期連続で経常費用を上回った。	Ť			物価高騰等に伴い経常費用は増加したが、基本財産		
		経常収益が、当期は経常費用を上回った。	0		0		ら、引き続き、暴排活動に賛同する賛助会員	
	経常収益・費用の比率	経常収益が、当期は経常費用を下回った。		O	† <u>~</u>	元英为五英·0·日加门 ( 社们	の増加、工夫を凝らした経費削減を継続、検 討していく必要がある。	
		経常収益が、2期連続して経常費用を下回った。		<u>-</u>	<b>†</b>	上凹つに。	引している安かのる。	
		当期末において債務超過でない。	0	0	0	欠損金、借入金は皆無であり、健全性を維持してい	借入金や欠損金、債務超過など経営悪化に	
ᆥᅭᄼᅹ		2期連続で改善した。			ļ <u>.</u>	る。	繋がるものは全くなく、今後もこの状態を継続	
健全性	債務超過の状況	前期に比べ改善した。			<b>†</b>	" <b> </b>	していく必要である。	
		前期に比べ悪化した。			<b></b>			
		2期連続で悪化した。			<b>†</b>			
		2期連続で増加した。		0	0			
	ᆍᆎᄔᅕᄳᆂᄙᆂᇰᄱᄁ	前期に比べ増加した。	0		<u> </u>			
	正味財産期末残高の状況	前期に比べ減少した。			<b></b>			
		2期連続で減少した。			<b>†</b>			
		当期末において累積欠損金はない。	0	0	0			
		累積欠損金は、2期連続で減少した。			<u> </u>			
	累積欠損金の状況	累積欠損金は、前期に比べ減少した。			<b></b>			
		累積欠損金は、前期に比べ増加した。			<b>†</b>			
		累積欠損金は、2期連続で増加した。		<b></b>	<b>†</b>			
		流動比率は、2期連続で100%以上であった。	0	0	0			
		流動比率は、当期は100%以上であった。		<u>-</u>	ļ <u>~</u>			
	短期的支払い能力の状況	流動比率は、当期は100%未満であった。			†			
		流動比率は、2期連続で100%未満であった。			†			
		当期末において借入金はない。	0	0	0			
		2期連続で低下した。		<del></del>	† <u>-</u>			
	借入金依存率の状況	前期に比べ低下した。			†			
		前期に比べ上昇した。			†			
		2期連続で上昇した。			†			
		FMIを収入しませた。						

豆八	== /王·若·□	57 (F. ch ch	該当項目にC		ΙΞO	山次は1の町日	<b>月</b> の託日	
区分	評価項目	評価内容		R5	_	出食法人())时息	県の所見	
白立性	知事・副知事の代表者への就任状 況	知事・副知事が法人の代表者へ就任していない	0	0	0	名誉会長として、県下の暴排業務に功労があった団体、個人への表彰の授与、暴追県民大会への臨席を 賜っている。	今後も知事・副知事の就任は認められない。	
	況	知事・副知事が法人の代表者へ就任している						
	県派遣職員の状況	当期末において県派遣職員はない 常勤職員に占める県派遣職員の割合が前期に比べ低下した。 常勤職員に占める県派遣職員の割合は前期と概ね同程度 常勤職員に占める県派遣職員の割合が前期に比べ上昇した。	0	0	0	暴対法に則り、警察官OB2名が暴力追放相談委員 として常駐し、暴力相談の受理、不当要求防止責任 者講習等の暴排活動を実施している。	暴力追放相談委員として警察OB2名が常駐しているのは、暴対法等に則った条件に適応する人材を従事させているもので、暴追センターの業務内容から考慮しても妥当であるこ	
	県退職職員の就任状況	当期末において県退職職員はない 常勤職員に占める県退職職員の割合が前期に比べ低下した。 常勤職員に占める県退職職員の割合は前期と概ね同程度 常勤職員に占める県退職職員の割合が前期に比べ上昇した。	0	0	0		とから、今後も継続していくことになる。	
	県財政支出の状況	当期末において県の財政支出はない。 経常収益に占める県の財政支出の割合が2期連続で低下した。 経常収益に占める県の財政支出の割合が前期に比べ低下した。 経常収益に占める県の財政支出の割合が前期に比べ上昇した。 経常収益に占める県の財政支出の割合が2期連続で上昇した。	0	0	0	県からの短期貸付金はこれまでから無く、健全性を 維持している。	貸付金は皆無である。県財政支出の主となる事業活動を補填する補助金については国債の買換え等により令和5年度の県財政支出を大きく減少していたことから令和6年度は上昇する結果となった。	
	らの借入れで、同一年度に貸付け	当期間中において県の短期貸付けはない 県の短期貸付けの額が2期連続で減少した。 県の短期貸付けの額が前期に比べ減少した。 県の短期貸し付けの額が前期と同額である。 県の短期貸付けの額が前期に比べ増加した。 県の短期貸付けの額が2期連続で増加した。	0	0	0		県財政支出の依存度を下げるため引き続き、寄附金収入増額に努める必要がある。	
	損失補償の状況	当期末において県の損失補償・債務保証はない 県の損失補償・債務保証の額が2期連続で減少した。 県の損失補償・債務保証の額が前期に比べ減少した。 県の損失補償・債務保証の額が前期と同額である。 県の損失補償・債務保証の額が前期と比べ増加した。 県の損失補償・債務保証の額が前期に比べ増加した。 県の損失補償・債務保証の額が2期連続で増加した。	0	0	0			
透明性	情報公開規程の整備状況	規程を整備している。 規程を設けていない。 規程を設けていない。 規程を設けていない(県の資本金等の割合が1/2未満)。	0	0	0	た情報公開規程、文書管理規程を整備し、この規程	法律に基づく財務諸表の備え付けや業務監査については、会計の専門家の指導を受けている。	
	情報公開の実施状況	ホームページ等により不特定の者に対し情報公開を行っている。 不特定の者に対し情報公開を行っていない。	0	0	0		加えてホームページを活用した情報公開も的確に実施されており、今後も継続していく必要	
	文書管理規程の整備状況	規程を整備している。 規程を設けていない。 規程を設けていない(県の資本金等の割合が1/2未満)。	0	0	0		がある。	
	文書管理の実施状況	情報公開の資料に係る文書の作成、整理、保存等を行っている。 情報公開の資料に係る文書の作成、整理、保存等を行っていない。	0	0	0			
	会計専門家の関与状況	作成した財務諸表について、会計監査人監査を受けている、または、財務 諸表の作成過程で、会計の専門家の指導・助言を受けている。 会計の専門家による監査・指導・助言等は受けていない。	0	0	0			
	業務監査の実施状況	素別の守口家による監査・相等・助告寺は支げていない。 業務監査を実施している。 業務監査を実施していない。	0	0	0			

	出資法人の総	合的評価•対応	県による総合	6的評価•対応			
事業に関する事項	主事業である広報啓発活動、相談業務、不当 除活動を継続して実施している。	要求防止責任者講習を主に、各種暴力団排	暴力団排除気運の浸透や高揚を図るため事業を実施しているところであるが、さらに合理 化、効率化等を勘案した事業を検討、実施していく必要がある。				
財務に関する事項	現在の収入は、国債等債券の利息、賛助会員となっているが、近年の物価高騰により、これていくことが困難になり、一昨年度は慎重かつ部買換を実施、さらに昨年度はこの買換によりにより年間の利息収入が増加した。しかして、新規賛助会員の獲得による寄附金収入の	までの国債等の満期償還時での更新を続け サイ分な検討の上、低金利であった国債の一 リ生じた売却益等により新たに国債を購入し、 ながら、今後のさらなる物価高騰を見据え	設立当初から今日に至るまで、その業務で借入等負債を抱えて実施したことはなく、収入状況や経済情勢に応じて計画的に事業を遂行しており、令和6年度は国債の買換等による利息収入が増加した。しかし昨今の経済情勢や県補助金等への依存度を縮小するためには、引き続き、経済情勢に応じた国債の運用や賛同する賛助会員の勧誘、経費削減等の自助努力が必要である。				
	を進める上では十分な額とはならないため、全 ・会費未納会員対する個々の働きかけ ・既存会員に対する口数の増加依頼 ・各種会合等の機会を利用した新規会員の を継続実施していく必要がある。	除の重要性を唱えた上での賛助会員の募集 ご前年度を上まわった。しかしながら自助努力 分後も )募集	県の関与の縮小に繋がる賛助会員の拡大については、あらゆる手段により暴追センターの活動を周知してもらい、賛同を得る必要がある。チラシや啓発品についても、既に暴追センターと関わりのある会員等だけではなく、一般県民に対して配布して周知できるよう、あらゆる活動機会を通じて配布している。				
行政経営方針実施計画 に関する事項 ※実施計画は次頁参照	実施計画に定める「具体的 賛助会員拡大に向けた具体的な取組内容とし 業等のホームページに当センターホームペー に4社のホームページに貼付した。また巡回村 て、新たに量販店の店舗4店にポスターを掲え 業等の担当者が集まる不当要求防止責任者 暴力団情勢を説明した上で、暴排の必要性を	て、当センターの認知度を高めるために、企 ジのバナー貼付を依頼し、令和6年度は新た 目談所開設の案内ポスター掲示箇所につい トした。その他これまで実施しているとおり、企 講習や各種会合の席において、県下における					
	実施計画に定める目標	左の実績	実施計画に定める目標	左の実績			
	・ 賛助会員数の拡大 令和3年度末 240件 → 8年度末 29 0件 ・ポスター掲示箇所 令和4年度から8年度で20件の増加 ・ホームページリンク先企業(パナー貼付) 令和4年度から8年度で25件獲得	·令和5年度末 254件 → 令和6年度末 261 件 ·令和4年度5件、令和5年度4件、令和6年 度4件獲得 ·令和4年度5社、令和5年度6社、令和6年 度4社獲得					
総 合 所 見	経済情勢や世界情勢が相変わらず厳しい中、 員数、寄附金額が増加傾向にある。 引き続き上記施策を積極的に講じながら賛助	,, <u>.</u> .,	各種暴力団排除活動を積極的に実施しなが、入会募集など工夫を凝らし、県関与縮小に努今後も継続して暴追センターの活動内容を県努力に向けた賛助会員の拡大や情勢に応じ、果が得られるよう随時見直し、検討を実施して	めている。 :民に広く積極的にアピールするとともに、自助 た国債の運用等、各種活動について費用対効			

## 【参考資料】

#### 財務諸表等へのリンク

公益財団法人 滋賀県暴力団追放推進センター (shiga-boutsui.jp)

#### ※行政経営方針実施計画(2023年度~2026年度)

基本的な考え方 (現状認識・今後の方向性) 暴力団排除は依然社会にとって、県民の安心できる生活を維持していく上で必要不可欠のものであり、県(警察)と県民との橋渡し的な役割を果たす当センターの役割は重要である。また県の関与の縮小を念頭に「自立性の拡大」に努めているが、平成5年度には新型コロナ感染症が2類から5類に移行したことから、賛助会員数、寄附金額ともに少しずつではあるが増加に転じており、今後も当法人が存在する必要性を含めた、知名度を上げる各種施策を引き続き実施していく必要がある。

具体的な取組内容	(令和 4 年度) (2022 年度)	令和 5 年度 (2023 年度)	令和 6 年度 (2024 年度)	令和 7 年度 (2025 年度)	令和 8 年度 (2026 年度)	目標
1 ホームページを効率的に活用する。 【出資法人】		掲載内容	Pの検討  プンク先企業の増	長		<ul><li>○ホームページリンク先企業</li><li>令和4年度 5社</li><li>→ 令和8年度 25社(年5社増設)</li></ul>
2 出張相談所開設事業の充実に向けて、広報等周知方法 を検討する 【出資法人】		相談所開	 	○ポスター掲示個所 令和8年度において、令和4年度からの20 件の増加とする		
3 賛助会員拡大に向けて、企業等への講習、不当要求責任者講習の席において、継続した暴排の必要性を説明し 賛助会員を募る。【出資法人】	講習等の機会し、賛助会員	 会ごとに暴排の継続 を募る。	した必要性とセン	クーの資金の必要	要性を説明	- ○賛助会員数 令和4年度 240件 → 令和8年度 290件(年10件増)
4 賛助会員の拡大に向けて、会員になることのメリットを増や す。【出資法人】	新たた	シメリットの考案と記	ば〒 <b>一</b>	効果の検証	上改善検討	
備考						I